

# 通信小海

## 「人の視点と神の視点」

牧師 荒柳 実  
あらいもみ まこと

イエス様は、ある日道を歩いておられ、生まれつき目の見えない人が道端で物を乞いをしているのをご覧になりました。その時、イエス様と一緒にいた弟子たちが次のように言ったのです。「先生。彼が盲目に生まれついたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。その両親ですか。」人の視点はいつも過去のことからはじまります。不幸や災いが続くのは、過去に何か悪いことをしたからではないか。本人や先祖が原因であるかのように考えます。お祓いをしてもらった方がいいのではないか。何か善行をした方がいいのではないかと考えます。しかし、イエス様は弟子たちと違った視点でこの人をご覧になっていました。「イエスは答えられた。この人が罪を犯したのでもなく、両親でもあ

## 「今月のみことば」

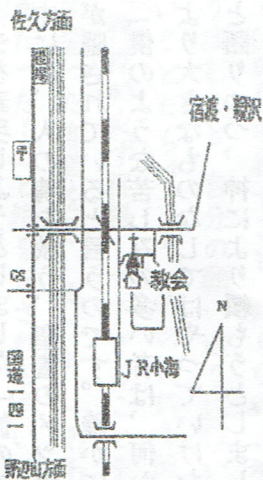
「イエスは答えられた。この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。」  
ヨハネ9:3

りません。神のわざがこの人に現れるためです。」なんと言う労わりの愛に満ちたお言葉ではないでしょうか。イエス様は、過去ではなく未来から物事をご覧になられ、積極的・肯定的にこれから彼が体験する素晴らしい御業を予告されます。神様の造られたもの（被造物）で、無意味なものは何ひとつありません。人間も当然、神様によって創造された存在です。神様は、ご自身の造られたものが、その造り主である神様の素晴らしさを現すために全てのものをお造りになりました。自然界を見れば、草や木や花などが、創造された神様の偉大さをその存在を通して現していることが分かります。道端に咲く小さな花でさえも神様は完璧に造られます。まして人間は、神様によって造られた被造物の中で、最高傑作であると言えるでしょう。人にはそれぞれ弱さや欠けがあり、それ故の劣等感や心の傷と向き合いながら、悩んだり悲し

## 日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七  
〒三八四・二一〇二 TEL 0267・83・7169  
〒振替 00530・0・61683

## 見晴台の教会へどうぞ



## 集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

\*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

\*初めての方も遠慮なくお越しください。

\*当教会は正当なプロテスタントの教会であり、エホバの証人・統一協会とは一切関係ありません。

んだりして生きています。過去を振り返っては嘆いたり、後悔したりの繰り返しかもしれません。けれども、神様の視点で自分の存在を見るならば、弱さも欠けも「恵み」であると受け取ることが出来るのです。それは、盲目の人がそうであったように、私たちにも「神の業」が現されるために与えられているものだからです。

イエス様のいのちという代価を支払うほどの価値があると言つて愛されていることを知る時、その人の生き方が変わりはじめます。あらゆる卑屈な思いから解放されて、本当の意味で自分を愛し、人を愛せる人に変えられるからです。そして、人間の視点ではなく、神様の視点で物事を正しく見ることができるよう、神様によって変えていただけます。聖書のことばから神様の視点を頂いて生きる時、人からの評価に一喜一憂することなく、何もできなくても、存在自体を喜んでくださる神様と共に生きることに、喜びを見出すことができるのです。



## 連載

### 信仰の眼で読み解く絵画

岡山 敦彦 【著】

#### 第一章 ゴッホ

「悩み抜いた信仰の画家」⑬



ゴッホの模写はさらに続きます。彼にとって衝撃的だった印象派の手法を取り込み、ゴッホの絵画は以前とは全く違つて明るい絵画に変わりました。さらに日本の浮世絵を模写して自分の絵画に取り入れようと努力を積み重ねました。特に強く影響を受けたのは歌川広重の絵画です。彼が浮世絵に大きな関心を持っていたことは、「タンギー爺さんの肖像画」からも分かります。肖像画の背後には四枚の浮世絵が描かれています。ゴッホは日本に行きたいという特別な思い、日本への憧憬を持ち続けていましたが、残念ながらその思いは実現しませんでした。けれども彼は日本を愛していました。それ

だけに、私たち日本人としては、ゴッホに対して特別な思いへと駆られるのかもしれませんが。ゴッホは次のように評価されます。「ゴッホの素晴らしさは、たくさんの作品を見てそれをただ模写するだけでなく、良いところを吸収して独自のスタイルを生み出す能力があることです。多くの画家の影響をひとつに融合できることこそ、ゴッホの芸術的知性であり、最も優れた現代画家と言われる理由です。さらに彼は絵画の中に精神性を込め、そこに聖書の福音的なメッセージを表現しようとした。」彼の絵画の中には、人の魂を救う、聖書のメッセージが隠されていると言うのです。確かに彼は「僕のような苦しみの多い者は、何か自分より大きなものなしではやっていけない」と語りつつ、神により頼もうとしました。ゴッホが好んで描いた「ひまわり」は、敬虔な信仰心、愛、忠誠などの象徴とされた花です。また、伝道者としての道が閉ざされても、「画家として「種まく人」を描くことで、みことばを蒔き続けることの大切さを証しようとしたのです。」

（終）

\*来月からミレーの生涯を連載します\*

## ニチニチソウ

## 日日草・日々想



（原点）

先日、教会では一人の姉妹の洗礼式を迎え、本当に大きな喜びがありました。イエス様を信じて救われた人が、神様と人の前でクリスマスチャンとして生きる決心と信仰の告白をして、新しく生まれる日。その場に共に居ることができるのは、ただただ神様の恵みであるということに改めて思わされました。そして、本当に真つ直ぐな信仰の告白に、自分自身の心の内を探られ、色々なことを思い巡らす時が与えられました。

私自身が原点に立ち返り、初めの思いを再び確認するチャンスと神様が与えて下さったのだと思います。

実は、小海町は私の人生にとって、大きく二つの意味で原点となる場所なのです。一つは、子どもの頃に松原湖バイブルキャンプに参加して、クリスマスチャンとして生きる信仰の決心が与えられた場所であること。もう一つは、結婚に導かれて、夫婦としての歩みが始まった場所、そして本籍地であることです。

人生の分岐点は、新たな道への出発点・原点となり、そこから見えるゴールを目指して、向きを変えて歩みなおすのが岐路に立つ意味だと思っておりますが、新たな道を歩む途中、その時の思いや決意が薄れたり、神様や周りの人への感謝さえ忘れてしまいそうになることがあるように思います。だから時々、岐路に立つた時に与えられた決心や思いを確認する必要があるのかもしれない。

結婚というのは人生の大きな分岐点です。職業も暮らす場所も夫である男性に従って大きく変化するのは、女性の側であることが多いことを思うと、ある意味で男性以上の一大決心をする訳です。私自身、牧師となる人と結婚するという

決心を簡単にできた訳ではありません。けれどもその昔、イエス様と出会って、生活の、人生の全てを神様のために生きることができたら、どんなに幸せだろうと思ひ、祈った祈りを神様は確かにきかれています。神様を愛して生きる人生を歩みたいと心から願った最初の思い：「仕事を手放すこと、知らない土地に移り住むこと、自分の願い通りにはいかないことだらけでも、他の何にも依らず、神様が必ず祝福して下さることを信じて誓った言葉を思い返すと、「ああ、そうだった」と襟を正される思いがします。

原点となる場所へ帰って来て一年が経ち、5月は結婚記念日を迎えます。どんな場合にも相手を愛し、敬い、慰め、助ける：結婚の誓約と、祝福して下さった多くの方々と神様への感謝を忘れてはいけませんね。

洗礼式の日、神の家族が増し加えられた喜びと共に、原点を見つめ直し、思いを新たにさせられた恵みの時でした。



# 通信小海

「人の視点と神の視点」

牧師 荒初 実

イエス様は、ある日道を歩いておられ、生まれつき目の見えない人が道端で物乞いをしているのをご覧になりました。その時、イエス様と一緒にいた弟子たちが次のように言ったのです。「先生。彼が盲目に生まれついたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。その両親ですか。」人の視点はいつも過去のことからはじまります。不幸や災いが続くのは、過去に何か悪いことをしたからではないか。本人や先祖が原因であるかのように考えます。お祓いをしてもらった方がいいのではないか。何か善行をした方がいいのではないかと考えます。しかし、イエス様は弟子たちと違った視点でこの人をご覧になっていました。「イエスは答えられた。この人が罪を犯したのでもなく、両親でもあ

【今月のひとば】

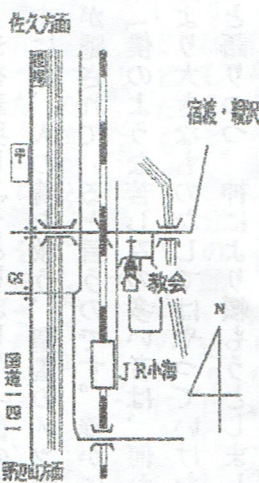
「イエスは答えられた。この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。」  
ヨハネ9:3

りません。神のわざがこの人に現れるためです。」なんと言う労わりの愛に満ちたお言葉ではないでしょうか。イエス様は、過去ではなく未来から物事をご覧になられ、積極的・肯定的にこれから彼が体験する素晴らしい御業を予告されます。神様の造られたもの（被造物）で、無意味なものは何ひとつありません。人間も当然、神様によって創造された存在です。神様は、ご自身の造られたものが、その造り主である神様の素晴らしさを現すために全てのものをお造りになりました。自然界を見れば、草や木や花などが、創造された神様の偉大さをその存在を通して現していることが分かります。道端に咲く小さな花でさえも神様は完璧に造られます。まして人間は、神様によって造られた被造物の中で、最高傑作であると言えるでしょう。人にはそれぞれ弱さや欠けがあり、それ故の劣等感や心の傷と向き合いながら、悩んだり悲し

日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七  
〒三八四・二一〇二 TEL 0267・88・7169  
〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

\*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

\*初めての方も遠慮なくお越しください。

\*当教会は正当なプロテスタントの教会であり、エホバの証人・統一協会とは一切関係ありません。